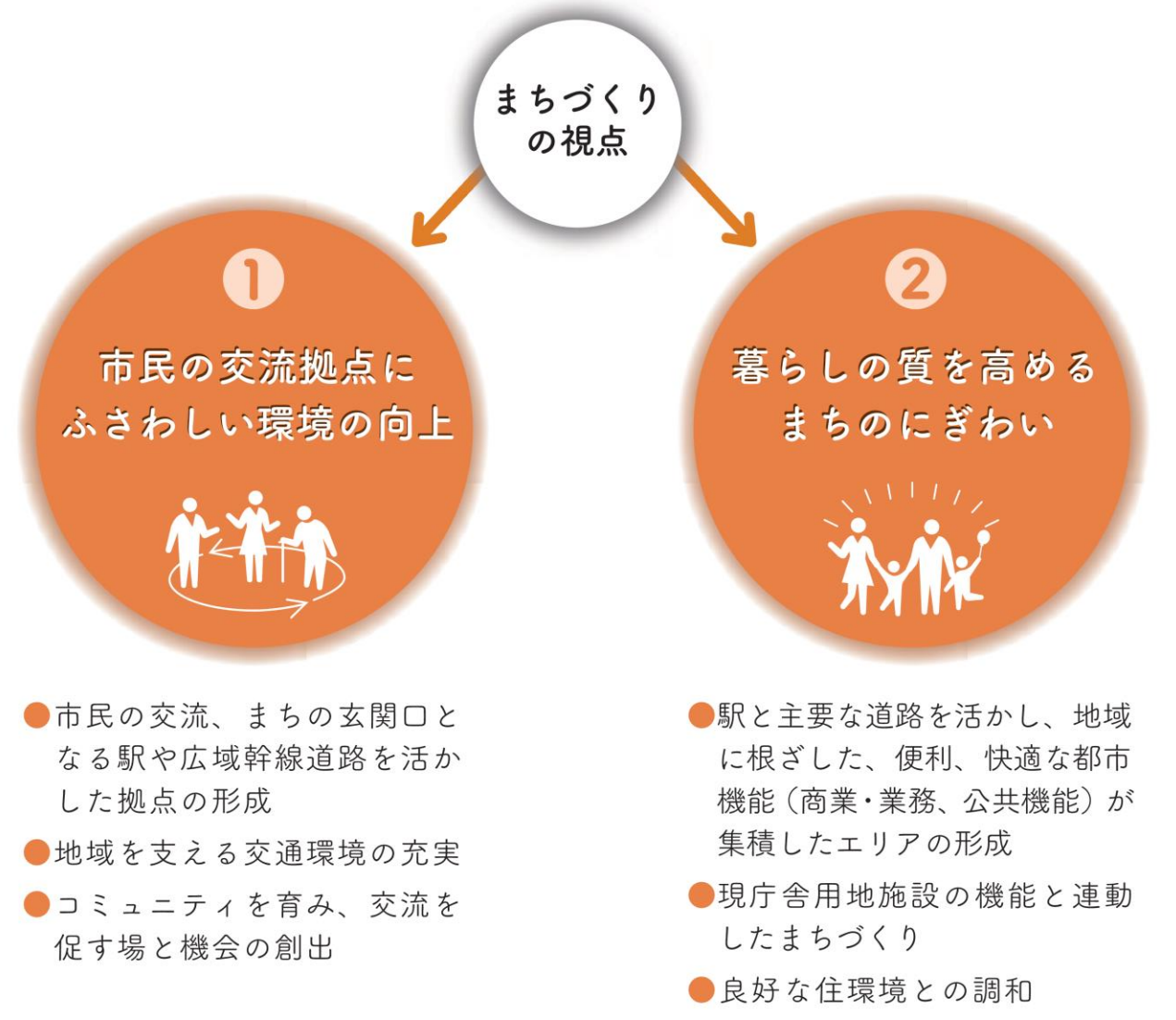


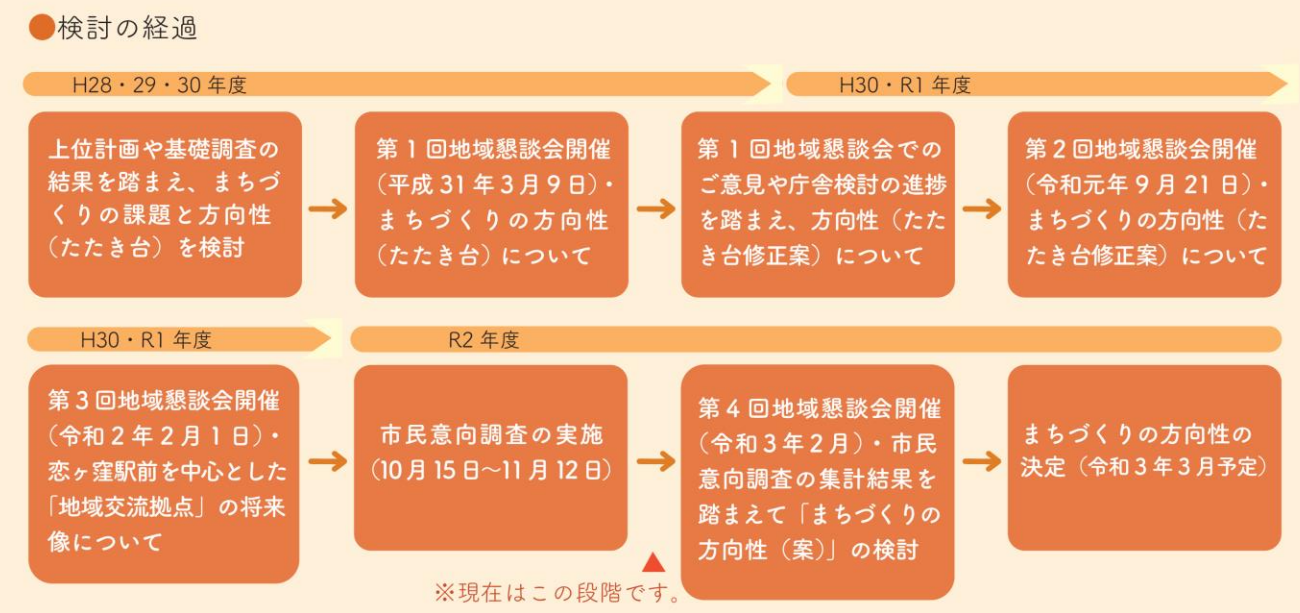
恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくりの方向性（案）

まちの変化とともに、
「ひとが行き交い・つながり・にぎわう」
まちづくりを目指します

「まちづくりの方向性」は、都市計画マスタープランで位置づける「地域振興拠点」の形成を目指し、上位計画等の位置づけや地域の現況を踏まえ、望ましいまちの将来像を方向づけるための基本的な考え方を示すものです。



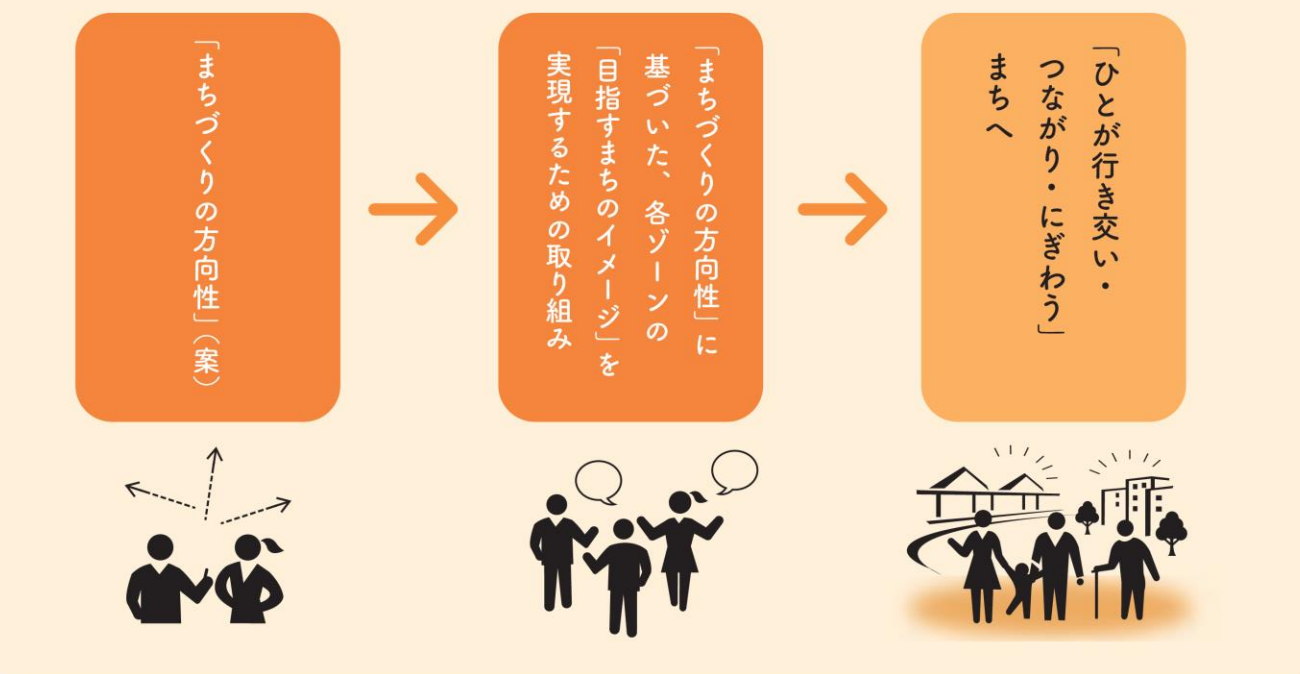
これまでのまちづくりの経緯



まちづくりの今後の進め方

今後の進め方については、現在の「まちづくりの方向性（案）」を踏まえて各ゾーンの「目指すまちのイメージ」の実現に向けた取組みを進めてまいります。

これからも、まちづくりに関する情報を発信し、皆様のご意見を伺いながらまちづくりに取り組んでまいります。



2つの視点を踏まえて、4つのゾーンの特徴を活かしたまちづくりを目指します

< 駅西側ゾーン >

多世代の市民が交流するまち

- 現庁舎用地を活かした新たな交流拠点の創出
- 周辺環境との調和を図るための都市計画の手法の検討
- 交通機能（駅・都市計画道路）を活かしたまちの形成
- 駅近の立地を活かした住みよいまちの形成

目指すまちのイメージ

駅近の立地を活かしつつ、現庁舎用地の活用や都市計画道路等、地域の変化する環境に応じていきながら、市民の交流拠点の創出を目指します。

< 国3・2・8号線沿道ゾーン >

人が踊る・地域が輝く・緑豊かなまち

市の主要骨格軸にふさわしい活力と交流の創出、緑と調和した魅力あるまちなみの形成を目指します。

（「国3・2・8号線沿道北地区計画」（平成27年4月）策定）

- 土地利用の方針
活力と交流ある適正な土地利用を誘導（中高層住宅に加えて、生活利便施設や広域からの利用客も見込める施設の立地を図る）
- 建築物等の整備の方針
魅力ある沿道のまちなみを形成（建築物等の用途、建築物の最低敷地面積、建築物等の高さ等の制限）

恋ヶ窪駅周辺エリアのゾーン区分図



< 恋ヶ窪駅前ゾーン >

利便性が高く安全・快適な駅前

- 日常生活を豊かにし、利便性の高い駅前にふさわしいまちなみの形成
- 安全で円滑な通行環境・駅利用環境の確保
- 快適でゆとりある駅前空間の創出

目指すまちのイメージ

駅前の立地特性を活かした利便性の高いまちを目指します。また、人・自転車・自動車等が狭いエリアに錯綜する危険性の低減を図りながら、誰もが利用しやすい環境づくりと、恋ヶ窪の玄関口にふさわしいまちなみの形成を目指します。

< 市役所通り沿道ゾーン >

にぎわいと親しみのある安心なまち

- 地域に根ざした店舗を中心とした、にぎわいと活気あるまちの形成
- 安全・快適に歩ける環境の創出

目指すまちのイメージ

地域住民や来街者にあった、にぎわいのあるまちなみの形成と、安心して通行・買い物ができる歩行環境を目指します。